

学科名	電気通信工学科						
科目名	電気電子数学演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)・必修科目(電気エネルギーコース)・必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正・喜屋武 毅						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・初等関数を微分することができる。 ・合成関数の微分法を使うことができる。 ・関数のグラフを描くことができる。 ・不定積分の基本公式を使うことができる。 ・置換積分法、部分積分法を使うことができる。簡単な定積分の応用問題が解ける。 						
日程と内容	9月14日 導入・関数とその積、逆関数 9月19日 関数の極限 9月28日 微分係数と導関数 10月 5日 合成関数の導関数、関数の点積の導関数 10月10日 逆関数の導関数、対数微分法、商の導関数 10月19日 テーラー展開とその応用 10月26日 導関数の応用 11月 2日 原始関数と不定積分 11月 9日 置換積分と部分積分 11月16日 部分分数分解による積分・他 11月30日 定積分 12月 7日 種々の定積分、広義積分 12月14日 積分の応用(面積・体積) 12月21日 積分の応用(変位と速度・実効値) 1月19日 定期試験(1) 1月26日 定期試験(2)						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標は授業をとおしてすべてカバーすることができた。また、学生の到達度は、課題と定期試験によって確認できた。						
反省点	理解度を深めるために多くの演習問題を与えていたが、毎週の演習の結果をみるかぎり復習が十分とはいえなかった。とくに理解に苦しんでいる学生には個別指導が必要だが、システムとして確立させないと実効性が発揮されないように思う。						
来年度の計画	担当者変更						
授業評価アンケートに対するコメント	この科目についていえば、とにかく多くの演習問題にあたってほしかった。まだ遅くないので、そうすれば数学への興味が深まり、重要性も認識されるはずである。						
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	52名	合格率	79%